

衆議院議員選舉法改正法律案帝國議會、提出、
件第一回審査委員會

大正十三年十二月二十七日(土曜日)本院事務所
ニ於テ開會

出席者

濱尾議長

審査委員長

金子顧問官

審査委員

富井顧問官

平山顧問官

有松顧問官

倉富顧問官

山川顧問官

黒田顧問官

平沼顧問官

江本顧問官

國務大臣

加藤内閣總理大臣

説明員

若槻内務大臣

塚本法制局長官

金森法制局参事官

松井法制局参事官

潮内務省地方局長

川崎内務省警保局長

三邊内務書記官

石原内務書記官

坂内務事務官

久慈内務事務官

林 司法次官

山岡司法省刑事局長

二上書記官長

村上書記官

堀江書記官

(午後一時二十五分開會)

金子委員長開會ヲ宣ス

先ッ加藤内閣總理大臣ヨリ衆議院議員選舉法改正

法律案立案ノ趣旨ニ付説明アリ

次ニ若槻内務大臣ヨリ本案改正ノ要綱ニ付説明アリ

次テ質問ニ移ル

金子委員長ヨリ若槻内務大臣ノ説明中納稅資格ノ撤

廢ニ關シ質問アリ若槻内務大臣之ニ答辯ス

黒田顧問官ヨリ世間ノ普選尚早論ニ對スル政府ノ所見如何

ニ付、江本顧問官ヨリ普選ノ實施ニ當リ國民ノ智識向

上等相當ノ對策アリヤニ付孰シモ質問アリ加藤内閣

總理大臣之ニ答辯ス

平沼顧問官ヨリ普選實行ノ對應策トシテ教育ノ實
質ノ改善、危險思想ノ取締等ニ付政府ノ方針如何ヲ
質ス所アリ加藤内閣總理大臣及若槻内務大臣之ニ
答フ

次ニ山川顧問官ヨリ選舉資格中ニ教育ノ條件ヲ
加フルヲ得サルヤニ付質問アリ若槻内務大臣之ニ答フ
有松顧問官ヨリ、今回ノ立案ニ際シ政府ハ與黨三
派トミ協議ヲ為シタリトノコトナルカ其ノ真相如何ト
ノ質問アリ若槻内務大臣ノ之ニ對スル答辯アルヤ同
顧問官ハ更ニ貴族院令ノ改正ニ付テ質問ヲ為シ加

藤内閣總理大臣之ニ答フ次テ地方制度ノ改正方針、
大選舉區比例代表制度等ニ關シ同顧問官ト若槻
内務大臣トノ間ニ逐次問答ヲ重ヌ

依リニ江木顧問官ヨリモ貴族院改革問題ニ付テ質
問アリ加藤内閣總理大臣之ニ答辯ス

右依テ

金子委員長閉會ヲ宣ス

(午後五時閉會)

衆議院議員選舉法改正法律案帝國議會提出ノ
件第二回審査委員會

大正十四年一月七日(水曜日)本院事務所
於之開會

出席者

審査委員長

金子顧問官

審査委員

富井顧問官

平山顧問官

有松顧問官

倉富顧問官

山川顧問官

黒田顧問官

平沼顧問官

江本顧問官

國務大臣

若槻内務大臣

岡田文部大臣

説明員

塚本法制局長官

金森法制局参事官

鈴木内務省参事官

潮内務省地方局長

川崎内務省警保局長

石原内務書記官

坂内務事務官

林司法次官

山岡司法省刑事局長

三宅司法書記官

二上書記官長

村上書記官

堀江書記官

(午後一時二十五分開會)

金子委員長開會ヲ宣シ

前田ニ引續キ議案大體ニ関スル質問ヲ求ム

富井顧問官ハ普通選舉實行ニ伴ヒ其ノ矯弊善導

ノ爲對策ノ必要ヲ論シ教育ノ改善、貴族院ノ改革、比例代表制度ノ採否等ニ関シ政府ノ所見ヲ問フ岡田文部大臣及若槻内務大臣之ニ答フ

次ニ平沼顧問官ヨリモ同様ノ質問ヲ爲シ教育ノ實質上改善ヲ要スヘキ諸點ニ付文部大臣ノ意見ヲ問フ岡田文部大臣之ニ答辯ス

江木顧問官ヨリ義務教育ノ延長及公民教育ニ関シ質問アリ岡田文部大臣之ニ答フ

次ニ金子委員長及有松顧問官ト岡田文部大臣トノ間ニ教科書編纂ニ関シ質問應答アリ

次ニ倉富顧問官ヨリ選舉権擴張ノ根本趣意ニ關シ
質問アリ若槻内務大臣ノ之ニ對スル答辯アリ

右依テ

金子委員長閉會ヲ宣ス

(午後五時閉會)

衆議院議員選舉法改正法律案帝國議會提出ノ
件第三回審査委員會

大正十四年一月八日(木曜日)本院事務所

於テ閉會

出席者

審査委員長

金子顧問官

審査委員

平山顧問官

有松顧問官

倉富顧問官

山川顧問官

黒田顧問官

平沼顧問官

江本顧問官

親席者

富井顧問官

國務大臣

若槻内務大臣

岡田文部大臣

説明員

塚本法制局長官

金森法制局参事官

鈴木内務省参事官

潮内務省地方局長

川崎内務省警保局長

三邊内務書記官

坂内務事務官

唐澤内務事務官

林 司法次官

山岡司法省刑事局長

二上書記官長

村上書記官

堀江書記官

(午後一時四十分開會)

金子委員長開會ヲ宣シ前回ニ引續キ大体ノ質問ヲ
求ム

黒田顧問官ヨリ普通選舉ノ大體ノ趣意ニ付、金子
委員長ヨリ不良少年ノ取締ニ付、平沼顧問官ヨリ暴
力團體ノ取締ニ付孰レモ質問アリ若槻内務大臣一々
之ニ答辯ス

倉富顧問官ヨリ華族ノ戸主ニ選舉權被選舉權ヲ
與フルノ理據並其ノ貴族院令及二院制度トノ關係
ニ関シ質問アリ若槻内務大臣之ニ答フ

次テ江木顧問官ヨリ普通選舉ニ因リ多數國民ノ意
思ヲ代表セシムルノ趣意ヲ質問シ普通選舉ノ弊害矯
正ノ爲メ對策トシテ宗教家ヲ尊重セサルヤニ付質問

ヲ為シ若槻内務大臣及岡田文部大臣ノ之ニ對スル答
辯アリ

此ノ時金子委員長ヨリ華族ノ貴族院ニ於ケル地位等
ニ關シ憲法制定當時ノ事情ヲ述、黒田顧問官ヨリモ
同様ノ陳述ヲ為ス

有松顧問官ハ投票ノ點檢ヲ投票區別ニ為スハ大ナル弊
害ヲ伴ハサルヤ、選舉費用ノ制限ハ却テ不可ナラサルカ
選舉運動ノ為ニスル郵便ノ無料發送ノ利害等ニ關シ
質問ヲ為シ若槻内務大臣及塚本法制局長官之ニ答
辯ス

右依テ金子委員長ハ閉會ヲ宣ス

(午後五時半閉會)

衆議院議員選舉法改正法律案帝國議會、提出ノ
件第四回審査委員會

大正十四年一月十二日(月曜日)本院事務所
於テ開會

出席者

濱尾議長

一本副議長

審査委員長

金子顧問官

審査委員

富井顧問官

平山顧問官

有松顧問官

倉富顧問官

山川顧問官

黒田顧問官

平沼顧問官

江本顧問官

二上書記官長

村上書記官

堀江書記官

(午後一時四十分開會)

金子委員長開會ヲ宣シ議案大體ニ関スル各員ノ意見ヲ求ム

富井、江本、有松、倉富、黒田、平沼、平山、山川各顧問官及一本副議長ヨリ夫々意見ノ開陳アリ其ノ要旨左ノ如シ

富井顧問官

- 一 納税資格撤廢ニハ不安アルモ賛成スルノ外ナシ
- 二 被選資格タル年齡ハ之ヲ低下セス現行法通ヲ可トス

江本顧問官

- 一 政府カ普通選舉ノ對策ニ熱心ナラサルヲ遺憾トスルモ納税資格撤廢ハ已ムヲ得サルコトト認ム
- 二 然レトモ本案ノ如ク乞食浮浪人ニモ選被選舉權ヲ與フルカ如キ無制限ハ非ナリ
- 三 公侯爵ニ被選舉權ヲ與フルハ貴族院令ニ抵觸ノ嫌アリ之ヲ與ヘサルヲ可トス

有松顧問官

本案ノ如キ突飛ナル普通選舉ハ我國固來ノ良風美俗タル家族制度ヲ破壊スルニ至ルノ虞アリ之ニ對シテ主ヲ重ニスル意味ニ於テ何等カ制限ノ方法ナキヤ

倉富顧問官

- 一 納税資格撤廢ニ對シテハ其ノ弊害ノ短正ヲ希望シツ之ヲ是認スルノ外ナシ
- 二 選舉權ヲ與フルニ付戸主ヲ重ニスル必要ナシ
- 三 華族ノ戸主ニ選舉權及被選舉權ヲ與ヘサルコト

現行法ノ如クシタシ

黒田顧問官

一 納税資格撤廃ハ已ムヲ得サルヘシ

二 華族ノ戸主ニ選舉權及被選舉權ヲ與ヘサルヲ可

トストノ倉富説ニ賛同ス

平沼顧問官

一 普通選舉ヲ行フニ付テハ國民ノ要望ニ因ルニ非スシテ國民之カ負擔ニ堪フル能力アリトノ理據ニ於テ之ヲ與フヘシ此ノ際普通選舉ヲ行フ為ニハ一面國民ヲ善導スル為ノ對策トシテ教育ノ改善ト思想ノ

取締ヲ為スヲ以テ必要條件トス

平山顧問官

一本案ノ如キ突飛ナル普通選舉ヲ好マス何等カノ制限ヲ設クルヲ得サルカ

二 華族ノ戸主ニ選舉權及被選舉權ヲ與フルハ適當ナラス

三 被選舉資格トシテノ年齢ノ低下ハ多数之ヲ否トスルナラハ余モ之ニ同意スヘシ

四 小學校教員ニ被選舉權ヲ與フルハ不可ナリ

山川顧問官

一 選舉被選舉資格ヨリ納税ノ要件撤廢スル以上
ハ教育上ノ要件ヲ之ニ加ヘタレ

一本副議長

一 國民ニ普ク選舉權ヲ與ヘサルコトハ説明困難ナリ
今日ハ寧ロ之ヲ與フルヲ可トス納税資格ノ撤廢ハ已
ヲ得サルヘシ

二 家族制度維持ノ為ニスル制限ヲ之ニ加フルコトハ妥
當ナラサルヘシ

三 華族ノ戸主ニ選舉權及被選舉權ヲ與フルハ正當
ナリ

江木顧問官 (意見ヲ補足ス)

一 選舉權及被選舉權ノ制限ニ家族制度ヲ加味
シ得サルコトハ已ヲ得サルコトナリ

二 被選舉資格トシテノ年數ノ制限ハ成ルヘク現行法
通ヲ可トス

三 選舉資格及被選舉資格トシテ教育上ノ要件ヲ
加フルコトハ一考シタキモ實行上困難ナルカ如シ

右依テ

金子委員長閉會ヲ宣ス

(午後五時閉會)

衆議院議員選舉法改正法律案帝國議會、提出
ノ件第五回審査委員會

大正十四年一月十五日(木曜日)本院事務所
於テ開會

出席者

濱尾議長

一木副議長

審査委員長

金子顧問官

審査委員

富井顧問官

平山顧問官

有松顧問官

倉富顧問官

山川顧問官

黒田顧問官

平沼顧問官

江木顧問官

二上書記官長

村上書記官

堀江書記官

(午後一時四十五分開會)

金子委員長開會ヲ宣シ前回は引續キ議案大體ニ関シ各員ノ意見ヲ求ム

有松、富井、平沼、倉富、江木、山川、黒田各顧問官ヨリ夫々意見ヲ述、金子委員長ヨリモ陳述アリ其ノ要點概ネ左ノ如シ

有松顧問官

- 一納税資格撤廃ニ同意スルモ家族制度維持ノ見地ヨリ何等カノ制限ヲ設ケタレ
- 二被選舉資格トシテノ年齢ヲ現行法通ニ止ムルコトハ多數ノ賛成アラハ夫ニ同意ス
- 三華族ノ戸主ニ選舉權及被選舉權ヲ與フルコトハ可ナリ但シ公侯爵ニ被選舉權ヲ與ヘサル意味ノ修正ヲ加フルハ可ナリ

富井顧問官

- 一納税資格撤廃ハ今日ノ大勢上已ヲ得ス之ニ同意スル

モ不安ナキニ非ス

家族制度維持ノ趣旨ノ修正ヲ加フルコトハ困難ナリ何等カノ制限ヲ要ストセハ住所ノ點ニ修正ヲ加フヘシ

二希望事項

- 公民教育ノ改善普及ヲ圖ルヘキコト
- 比例代表制度ヲ成ルヘリ速ニ採用セラレタキコト
- 不徳ノ行動ニ對スル取締ヲ嚴ミセラレタキコト
- 三被選年齢ノ据置ハ之ヲ希望スルモ強テ主張セス
- 四華族ノ選舉權及被選舉權ハ本案ヲ可トス

五官吏ハ議員ト相兼ヌルニ止マラス被選資格ナキ
コトトシタシ

平沼顧問官

一普選ハ國民其ノ負擔ニ堪フト見テ之ヲ行フト
解スヘシ但シ其ノ弊害矯正ニカムヘキモノトス
二家族制度ノ破壊ハ不可ナルモ之ニ立脚シテ選舉權
ノ制限ヲ設クルハ當ヲ得サルヘシ
三浮浪人乞丐等ニ選舉權ヲ與フルハ不可ナリ
四公費ノ救助ヲ受クル者ヲ除クハ不公平ナリ
五六月以上ノ住所ハ認定困難ナリ

六被選舉年齡ハ現行法通ニテ可ナリ

七華族ノ戸主ニ選舉權及被選舉權ヲ與フルハ可
ナリ但シ公候爵ニ付テハ除外的法文ヲ設クル
ヲ可トセム

倉富顧問官

一納稅資格撤廢ハ已ムヲ得ス之ニ緩分ノ制限ヲ
設クルハ可ナルモ名案ナシ

二六月以上ノ住所ノ點實際制限ト為ラサルヘシ

江本顧問官

一家族制度ノコトハ選舉法中ニ加味セシムルコトハ不

能ナリ

ニ浮浪人等ハ之ヲ除クヘキコト當然ナリ

住所ノ要件ニ付證明登録ノ方法ヲ設クルコト
モ一策ナリ

三比例代表制度ヲ成ヘシ早ク實行セムコト同感ナ
リ

華族ノ戸主ニ選舉權及被選舉權ヲ與フルコト
ハ本案ニ同意ス

四公侯爵ニ被選舉資格ヲ與ヘザルコトハ必シモ法文ヲ以
テ之ヲ明ニセストモ可ナリ此點ハ前説ヲ取消ス

五被選舉年齡ノコト現行法通ラ可トス

六希望トシテ公民教育及青年教育ノ普及改善ヲ
指摘ス

山川顧問官

一選舉及被選舉資格中ニ教育上ノ要件ヲ加ヘタレ
此ノ事ハ實行サマテ困難ニ非ス

黒田顧問官

一納税資格撤廢ハ已ヲ得サルヘシ將來ヲ憂慮ス
充分取締ヲ必要ト認ム

二住所ノ點疑ヲ質シタル上ニテ浮浪人等ヲ含マサル

様修正ヲ加フヘシ

三華族ノ戸主ニ選舉權及被選舉權ヲ與フルコトニ

ハ反對ナリ

金子委員長

憲法制定當時ノ事情ヲ述ヘ二院制度ノ精神ヨリ

華族ノ戸主ニ選舉權及被選舉權ヲ與フルコトニ反

對ス

右依テ議事ノ順序ニ付協議ヲ為シ次回ヨリ逐條審

議ニ入ルニ決シ

金子委員長閉會ヲ宣ス

(午後五時閉會)

衆議院議員選舉法改正法律案帝國議會、提出
ノ件第六回審査委員會

大正十四年一月十七日(土曜日)本院事務所
於テ開會

出席者

濱尾議長

一木副議長

審査委員長

金子顧問官

審査委員

富井 顧問官

平山 顧問官

有松 顧問官

倉富 顧問官

山川 顧問官

黒田 顧問官

平沼 顧問官

江本 顧問官

二上 書記官長

村上 書記官

堀江 書記官

(午後二時四十分開會)

金子委員長開會ヲ宣シ議案ノ逐條朗讀ヲ為サシム

第一章 (堀江書記官朗讀)

第一條ニ關シ區制ニ付有松顧問官ヨリ同別表ニ付二上

書記官長ヨリ

第三條ト郡長廢止ト關係ニ關シ富井、江本兩顧問官ヨ

リ同條ノ附票區ニ関シ有松顧問官ヨリ

第二章ニ入ル（堀江書記官朗讀）

第五條ノ年齡ニ関シ富井、黒田、江本各顧問官ヨリ

第六條第三號ニ関シ有松顧問官及二上書記官長ヨリ

同條第四號及第五號ニ関シ富井顧問官ヨリ

第七條ノ意義ニ関シ有松顧問官ヨリ

現行法第十二條第一項削除ノ理由ニ関シ倉富顧問官ヨリ

現行法第十三條第一項削除ノ理由ニ関シ平沼、黒田西顧問官ヨリ

同條第二項及第三項削除ノ理由ニ関シ二上書記官長ヨリ

第八條ノ意義ニ関シ有松顧問官ヨリ

第十條ニ関シ一本副議長、金子委員長、有松、黒田、平沼各顧問官及二上書記官長ヨリ種々質問ノ提出アリ之ニ對シ各負意見ノ交換ヲ為ス

右依テ金子委員長閉會ヲ宣ス

（午後六時閉會）

衆議院議員選舉法改正法律案帝國議會、提出ノ
件第七回審査委員會

大正十四年一月二十日(大曜日)本院事務所ニ
於テ開會

出席者

濱尾議長

一木副議長

審査委員長

金子顧問官

審査委員

富井顧問官

平山顧問官

有松顧問官

倉富顧問官

山川顧問官

黒田顧問官

平沼顧問官

江木顧問官

二上書記官長

堀江書記官

(午後二時開會)

金子委員長開會ヲ宣シ逐條審議ヲ續行ス

第二章(選舉權及被選舉權)朗讀(堀江書記官朗讀)

第六條ノ選舉權及被選舉權ノ要件ニ関シ江木、山川、有松各顧問官ヨリ各意見的質問ノ提出アリ之ニ對シ

富井、倉富、平沼各顧問官ヨリ意見ノ陳述アリ

金子委員長ヨリ華族ノ戸主ニ選舉權及被選舉權

ヲ與ヘサル點ニ關シ憲法制定當時ノ事情ヲ述ヘ
次テ第三章（選舉人名簿）ニ移ル（堀江書記官朗
讀）

第十二條ニ關シ住所ノ意義其ノ他ニ付富井、江木兩
顧問官ヨリ

第十三條ニ關シ二上書記官長ヨリ質問アリ各負意見
ヲ交換ス

右依テ金子委員長閉會ヲ宣ス

（午後五時閉會）

衆議院議員選舉法改正法律案帝國議會ニ提出ノ
件第八回審査委員會

大正十四年一月二十二日（木曜日）本院事務所

ニ於テ開會

出席者

一本副議長

審査委員長

金子顧問官

審査委員

附録

富井顧問官

平山顧問官

有松顧問官

倉富顧問官

山川顧問官

黒田顧問官

平沼顧問官

江本顧問官

二上書記官長

村上書記官

堀江書記官

(午後二時十五分開會)

金子委員長開會ヲ宣シ逐條審議ヲ續行ス

(逐條朗讀—堀江書記官)

第四章(選舉、投票及投票所)ヨリ始ム

第十八條選舉ノ期日ニ関シ富井、江本兩顧問官及

二上書記官長ノ質問アリ

第三十三條不在投票ニ関シ一本副議長、有松顧問

官及二上書記官長ヨリ質問アリ

次テ第五章(開票及開票所)ニ入ル

第四十九條投票ノ點檢ニ関シ有松顧問官ヨリ質問アリ

第六章(選舉會)ニ付テハ疑義ナシ

第七章(議員候補者及當選人)ニ関シ

第六十七條立候補ノ届出ニ付有松、江本兩顧問官ヨリ

第六十八條第三項及第六十九條ニ関シ二上書記官長ヨリ

第七十條ニ関シ倉富、平沼、江本各顧問官及二上書記官長ヨリ

第七十一條無投票制度ニ関シ有松、江本兩顧問官ヨリ

質問アリ各負意見ヲ交換ス

右依テ金子委員長開會ヲ宣ス

(午後五時十分閉會)

衆議院議員選舉法改正法律案帝國議會提出
ノ件第九回審査委員會

大正十四年一月二十三日(金曜日)本院事務所
ニ於テ開會

出席者

濱尾議長

一木副議長

審査委員

富井顧問官

列席者

平山顧問官
有松顧問官
倉富顧問官
山川顧問官
平沼顧問官
江本顧問官
金子顧問官
黒田顧問官

二上書記官長

村上書記官

堀江書記官

(午後一時五十分開會)

(金子委員長開席ニ付富井顧問官代リテ委員長ノ席ニ着ク)

富井委員長代理開會ヲ宣シ前回ニ引續キ逐條審議ヲ進ム

第七十條第四號ニ關シ江本顧問官ノ質問アリ之ニ對シ

平沼富井両顧問官及二上書記官長ノ意見陳述アリ

第七十五條第二項及第三項ニ関シ二上書記官長ヨリ

第八章（議員ノ任期及補闕）

第七十九條ニ関シ江木顧問官及二上書記官長ヨリ質問アリ

第九章（訴訟）

第八十一條以下本章ノ訴訟管轄ニ関シ二上書記官長ヨリ質問アリ

第十章（選挙運動）

第九十六條第三者ノ選挙運動ノ取締及第九十八

條個々ニ為ス選挙運動ノ取締ニ関シ有松顧問官ヨリ質問アリ

第九十四條第二項ニ関シ二上書記官長ヨリ質問アリ

第九十九條選挙運動ノ關格者ニ関シ富井顧問官及

二上書記官長ノ質問アリ

右ニ付右員意見ノ交換アリ

右依テ富井委員長代理ハ閉會ヲ宣ス

（午後五時半閉會）

衆議院議員選舉法改正法律案帝國議會、提出ノ
件第十回審査委員會

衆議院議員選舉法改正法律案帝國議會、提出ノ
件第十回審査委員會

大正十四年一月二十四日(土曜日)本院事務所
ニ於テ開會

出席者

濱尾議長

一本副議長

審査委員

富井顧問官

相
議
院

平山顧問官

有松顧問官

倉富顧問官

山川顧問官

黒田顧問官

平沼顧問官

江本顧問官

列席者

金子顧問官

二上書記官長

村上書記官

堀江書記官

(午後一時五十分開會)

(金子委員長列席ニ付富井顧問官代リテ委員長ノ
席ニ着ク)

富井委員長代理開會ヲ宣シ前田ニ引續キ逐條審
議ヲ進ム

第八十八條及第八十九條ニ関シ二上書記官長ヨリ

第九十八條ニ関シ有松顧問官ヨリ

第九十九條ニ関シ江本富井両顧問官ヨリ各質問アリ之ニ對シ各負意見ヲ交換ス

次テ第十一章(選舉運動ノ費用)ニ入ル

本章ノ費用制限ハ實際之ヲ行ヒ得ルヤ否ヤニ関シ富井顧問官ヨリ質問アリ

第一百一條費用ノ支出ノ意義其ノ他數點ニ関シ富井、平沼、江本各顧問官及二上書記官長ヨリ質問アリ

第一百二條ニ関シ一木副議長、倉富顧問官及二上書記官長ヨリ

第一百三條ニ関シ平沼、江本両顧問官及二上書記官長ヨリ

第一百四條ニ関シ倉富、黒田両顧問官ヨリ

第一百八條ニ関シ富井顧問官ヨリ

第一百九條ニ関シ二上書記官長ヨリ

第一百十條費用超過ニ因ル當選無効ノ規定ニ関シ富井、有松、平沼、倉富各顧問官ヨリ夫々質問アリ之ニ對シ各負意見ノ交換アリ

右依テ富井委員長代理閉會ヲ宣ス

(午後五時十五分閉會)

衆議院議員選舉法改正法律案帝國議會提出ノ件
第十一回審査委員會

大正十四年一月二十六日(月曜日)本院事務所
於テ開會

出席者

一木副議長

審査委員

富井顧問官

平山顧問官

有松 顧問官

倉富 顧問官

山川 顧問官

黒田 顧問官

平沼 顧問官

江本 顧問官

出席者

金子 顧問官

二上 書記官長

村上 書記官

堀江 書記官

(午前十時十分開會)

(金子委員長闕席ニ付富井顧問官代リテ委員長ノ

席ニ着ク)

富井委員長代理開會ヲ宣シ前回ニ引續キ逐條審

議ヲ進ム

第百十條ニ関シ富井、有松兩顧問官ヨリ前回ノ質

問ヲ補足スル所アリ

次ニ第十二章(罰則)ニ入ル(堀江書記官朗讀)

第百十二條ニ関シ江本顧問官及二上書記官長ヨリ

第百十三條ニ関シ一木副議長及二上書記官長ヨリ

第百十五條ニ関シ二上書記官長ヨリ

新第十八條ニ関シ富井顧問官ヨリ

第百十九條ニ関シ富井、黒田両顧問官ヨリ

第百二十條ニ関シ二上書記官長ヨリ

第百二十七條ニ関シ平沼顧問官ヨリ

第百三十一條、第百三十三條及第百三十四條ニ関シ二上

書記官長ヨリ

第百三十六條ニ関シ有松、平沼両顧問官ヨリ

第百三十七條ニ関シ二上書記官長ヨリ

第百三十八條及第百三十九條ニ関シ平沼顧問官ヨリ

第百四十條ニ関シ富井、有松両顧問官ヨリ

第百四十七條及第百四十九條ニ関シ二上書記官長ヨ

リ

附則第一項ニ関シ有松顧問官ヨリ

別表末尾ニ関シ平山、倉富、平沼各顧問官ヨリ各質

問アリ之ニ對シ各員意見ノ交換アリ

右ニテ逐條ノ審議ヲ終リシ

富井委員長代理閉會ヲ宣ス

(午後四時半閉會)

衆議院議員選舉法改正法律案帝國議會提出ノ件
第十二回審査委員會

大正十四年一月二十八日(水曜日)本院事務所ニ
於テ開會

出席者

濱尾議長

一木副議長

審査委員長

金子顧問官

審査委員

富井顧問官

平山顧問官

有松顧問官

倉富顧問官

山川顧問官

黒田顧問官

平沼顧問官

江木顧問官

國務大臣

若槻内務大臣

説明員

塚本法制局長官

金森法制局参事官

松井法制局参事官

潮内務省地方局長

川崎内務省警保局長

石原内務書記官

坂内務事務官

久慈内務事務官

林 司法次官

山岡司法省刑事局長

二上書記官長

村上書記官

堀江書記官

(午後一時三十五分開會)

金子委員長開會ヲ宣シ委員會ニ於ケル質問ニ對スル
當局ノ辯明ヲ求ム

第一條及別表ニ關スル有松富井兩顧問官ノ質問ニ對
シ若槻內務大臣及潮內務省地方局長ノ答辯アリ

第三條ノ「郡」「郡長」其ノ他ニ關スル有松江本兩顧問
官ノ質問ニ對シ若槻內務大臣ノ答辯アリ

第五條被選舉權ノ要件ノル年齡ニ關スル富井、江
本兩顧問官ノ質問ニ對シ若槻內務大臣ノ答辯アリ

第六條選舉權及被選舉權ノ要件諸點ニ關スル
有松、富井、金子、江本、平沼、山川各顧問官ノ質問ニ
對シ若槻內務大臣、塚本法制局長官、林司法次官
及潮內務省地方局長ノ答辯アリ

第七條ノ意義ニ関スル有松顧問官ノ質問ニ對シ潮内務省地方局長ノ答辯アリ

現行法第十三條削除ノ理由ニ関スル倉富、江本兩顧問官及金子委員長ノ質問ニ對シ若槻内務大臣及塚本法制局長官ノ答辯アリ

現行法第十三條削除ノ理由ニ関スル平沼顧問官ノ質問ニ對シ若槻内務大臣及塚本法制局長官ノ答辯アリ

本案第八條ノ疑義ニ関シ潮内務省地方局長ノ答辯アリ

同第十條ニ関スル富井、有松、平沼各顧問官ノ質問ニ對シ若槻内務大臣及塚本法制局長官ノ答辯アリ

右秩序金子委員長閉會ヲ宣ス

(午後五時四十分閉會)

衆議院議員選舉法改正法律案帝國議會提出
、件第十三回審査委員會

大正十四年一月二十九日（木曜日）本院事務所
ニ於テ開會

出席者

濱尾議長

一木副議長

審査委員長

金子顧問官

審査委員

富井顧問官

平山顧問官

有松顧問官

倉富顧問官

山川顧問官

平沼顧問官

江木顧問官

列席者

黒田顧問官

國務大臣

若槻内務大臣

説明員

塚本法制局長官

松井法制局参事官

潮内務省地方局長

川崎内務省警保局長

坂内務事務官

久慈内務事務官

林司法次官

山岡司法省刑事局長

二上書記官長

村上書記官

堀江書記官

(午後一時四十分開會)

金子委員長開會ヲ宣シ前日ニ次テ質問ヲ續行ス

第十二條住所ノ意義其ノ他ニ關シ塚本法制局長官ノ
辯明アルヤ平沼、江本、富井、有松各顧問官ヨリ質問アリ

若槻内務大臣、塚本法制局長官及潮内務省地方
局長交々之ニ答フ

第十三條、第十八條及第三十三條ニ關スル質問ニ對
シ塚本法制局長官ノ答辯アリ

第三十三條ノ不在者投票ニ關シ有松、倉富兩顧
問官ト塚本法制局長官、若槻内務大臣及潮内務省
地方局長トノ間ニ質問應答アリ

第四十九條投票ノ點檢、第六十七條議員候補者、
届出ニ關スル質問ニ對シ塚本法制局長官ノ答辯アリ
之ニ對シ更ニ江本有松兩顧問官及金子委員長

ヨリ質問アリ潮内務省地方局長及塚本法制局長
官之ニ答ヘ若槻内務大臣亦答辯ヲ補足ス
第六十八條議員候補者ノ保證金ニ関スル質問ニ對シ
塚本法制局長官ノ答辯アリ之ニ對シ有松、江本富
井各顧問官ヨリ質問アリ若槻内務大臣及潮内務
省地方局長之ニ答フ

右依テ金子委員長閉會ヲ宣ス

(午後五時閉會)

衆議院議員選舉法改正法律案帝國議會提出ノ件
第十四回審査委員會

大正十四年一月三十日(金曜日)本院事務所ニ於

テ開會

出席者

濱尾 議長

一木 副議長

審査委員長

金子 顧問官

審査委員

富井顧問官

平山顧問官

有松顧問官

倉富顧問官

山川顧問官

平沼顧問官

江本顧問官

列席者

黒田顧問官

國務大臣

若槻内務大臣

説明員

塚本法制局長官

金森法制局参事官

松井法制局参事官

潮内務省地方局長

川崎内務省警保局長

石原内務書記官

坂内務事務官

久慈内務事務官

林 司法次官

山岡司法省刑事局長

三宅司法書記官

二上書記官長

村上書記官

堀江書記官

(午後一時四十五分開會)

金子委員長開會ヲ宣シ前回ニ次テ質問ヲ續行ス

第六十九條ノ質問ニ對シ潮内務省地方局長ノ答辯アリ

更ニ倉富、有松兩顧問官ト同局長トノ間ニ問答アリ

第七十條當選ヲ失フ場合ノ規定ニ關スル質問ニ對シ潮

内務省地方局長ノ答辯アルヤ更ニ倉富及富井兩顧

問官ヨリ質問アリ若槻内務大臣及潮内務省地方局長之ニ答フ

第七十一條無投票當選ニ關スル江木顧問官ノ質問ニ

對シ若槻内務大臣ノ答辯アリ

第七十五條再選舉ノ規定ニ關スル質問ニ對シ潮内務

省地方局長ノ答辯アリ

第七十九條補關選舉ノ規定ニ関スル質問ニ對シ潮内務省地方局長ノ答辯アルヤ平沼顧問官更ニ質問ヲ為シ潮内務省地方局長之ニ答フ

第九章ノ訴訟ニ関スル質問ニ對シ潮内務省地方局長ノ答辯アリ
第八十八條及第八十九條ノ選舉運動ニ関スル質問ニ對シ
ヲハ川崎内務省警保局長ノ答辯アリ 倉富顧問官ト同
局長トノ間ニ更ニ回答ヲ重ヌル所アリ

第九十四條及第九十六條ノ質問ニ對シ川崎警保局長ノ答辯アリ 第九十六條ニ関シテハ更ニ倉富、有松、平沼及江木各顧問官ヨリ質問アリ 川崎局長林司法次

官及塚本法制局長官之ニ答フ

第九十八條戸別訪問等ノ禁止ニ付川崎警保局長ノ辯明アルヤ有松、倉富、平沼各顧問官及金子委員長ヨリ更ニ質問アリ 若槻内務大臣及川崎警保局長ノ之ニ對スル答辯アリ

右伏テ金子委員長閉會ヲ宣ス

(午後五時閉會)

衆議院議員選舉法改正法律案帝國議會、提出ノ
件第十五回審査委員會

大正十四年二月二日（月曜日）本院事務所
於テ開會

出席者

濱尾議長

一本副議長

審査委員

富井顧問官

平山顧問官

有松顧問官

倉富顧問官

山川顧問官

黒田顧問官

平沼顧問官

江木顧問官

列席者

金子顧問官

國務大臣

若槻内務大臣

説明員

塚本法制局長官

金森法制局参事官

松井法制局参事官

朝内務省地方局長

川崎内務省警保局長

石原内務書記官

唐澤内務事務官

坂内務事務官

久慈内務事務官

林 司法次官

山岡司法省刑事局長

三宅司法省参事官

二上書記官長

村上書記官

堀江書記官

(午後一時四十分開會)

(金子委員長開席ニ付富井顧問官代リテ委員長ノ
席ニ着ク)

富井委員長代理開會ヲ宣シ前回ニ次テ質問ヲ續行
ス

山川顧問官ヨリ選舉權及被選舉權トシテ教育上ノ
要件ヲ加フルノ議ニ付質問アリ江本顧問官ヨリモ同様
ノ質問アリ若槻内務大臣ハ之ニ對スル質問ヲ留保ス

第九十九條選舉運動者ノ制限ニ関スル質問ニ對シ川崎
内務省警保局長ノ答辯アリ更ニ富井顧問官ノ質
問ニ對シ川崎警保局長及若槻内務大臣ノ答辯アリ

次テ第十一章(選舉運動ノ費用)ニ入リ

第百一條費用支出意義其ノ他ニ関スル質問ニ對シ川崎警保局長ノ答辯アリ更ニ平沼、倉富、富井各顧問官及二上書記官長ノ質問ニ對シ川崎警保局長、山岡刑事局長及塚本法制局長官ノ答辯アリ

第百二條第百三條第百四條第百八條第百九條及第百十條ノ各條ニ関スル質問ニ對シ逐次川崎警保局長ノ答辯アリ尚第百十條ノ質問ニ對シテハ山岡刑事局長ヨリモ答辯スル所アリ

右ニ付第百二條ニ関シテハ富井、有松兩顧問官ヨリ、第百三條ニ関シテハ二上書記官長ヨリ、第百四條ニ関シテハ富井顧問官ヨリ質問アリ川崎警保局長一々之ニ答フ

第百八條ニ関シ江本、富井、有松各顧問官ヨリ質問アリ潮地方局長、川崎警保局長及林司法次官之ニ答辯ス

第百十條ニ関シ有松、平沼、富井各顧問官ヨリ質問アリ山岡刑事局長及若槻内務大臣ノ答辯アリ

依、若槻内務大臣、本章全体ニ関シ説明ヲ加ヘ有松顧問官ノ意見陳述アリ

右竹ヲ富井委員長代理閉會ヲ宣ス

(午後五時十五分閉會)

衆議院議員選舉法改正法律案帝國議會提出ノ
件第十六回審査委員會

大正十四年二月三日(火曜日)本院事務所
於テ開會

出席者

濱尾議長

一木副議長

審査委員

富井顧問官

平山顧問官

有松顧問官

倉富顧問官

山川顧問官

黒田顧問官

平沼顧問官

江木顧問官

列席者

金子顧問官

國務大臣

若槻内務大臣

説明員

塚本法制局長官

金森法制局参事官

松井法制局参事官

潮内務省地方局長

川崎内務省警保局長

石原内務書記官

坂内務事務官

久慈内務事務官

林 司法次官

山岡司法省刑事局長

三宅司法書記官

二上書記官長

堀江書記官

(午後一時四十分開會)

(金子委員長開席ニ付富井顧問官代リテ委員長、
席ニ着ク)

富井委員長代理開會ヲ宣シ前回ニ次テ質問ヲ續行
ス

第十二章(罰則)ニ入リ

第百十二條、第百十三條、第百十五條、第百十八條、第
百十九條、第百二十條、第百二十七條、第百三十一條、
第百三十三條及第百三十六條ニ關スル質問ニ對シ逐次
林司法次官ヨリ答辯アリ

其ノ間第百十二條ニ關シ江木、平沼、有松、富井各顧問
官ヨリ第百十三條ニ關シ有松、富井、西顧問官及二上
書記官長ヨリ、第百十五條ニ關シ江木顧問官ヨリ第

百十八條ニ関シ富井顧問官ヨリ第百十九條ニ関シ
富井顧問官及二上書記官長ヨリ質問アリ林司法次
官一々之ニ答フ

第百二十條ニ関スル倉富、富井両顧問官及二上書記
官長ノ質問ニ對シテハ林司法次官及山岡刑事局長
之ニ答辯ス

第百二十七條ニ関スル平沼顧問官ノ質問ニ對シテハ林司
法次官及若槻内務大臣之ニ答フ

第百三十一條ニ関スル二上書記官長及有松倉富兩
顧問官ノ質問ニ對シテハ林司法次官、山岡刑事局長

及川崎警保局長之ニ答フ

第百三十六條ニ関スル平沼富井両顧問官ノ質問ニ對
シテハ若槻内務大臣及塚本法制局長官ノ答辯アリ

第百三十七條ニ関スル質問ニ對シ潮地方局長ノ辯明
アルヤ江木、倉富兩顧問官及二上書記官長ヨリ質問
アリ若槻内務大臣、潮地方局長、山岡刑事局長及塚
本法制局長官交々之ニ答辯ス

第百三十八條ニ関シ林司法次官ノ辯明ニ對シ富井、平沼
両顧問官ノ質問アリ林司法次官之ニ答フ

次テ補則ニ入リ

第百三十九條ニ関スル質問ニ對シ潮地方局長ノ答辯アリ

第百四十條ニ関スル質問ニ對シ川崎警保局長ノ答辯アルヤ富井、江本、有松各顧問官ヨリ質問ヲ為シ川崎警保局長若槻内務大臣及塚本法制局長官之ニ答辯ス第百四十七條及第百四十九條ニ関スル質問ニ對シ塚本法制局長官ノ答辯アリ

附則第一項ニ関シ有松顧問官ノ質問ニ對シ塚本法制局長官答辯ヲ為ス

最後ニ若槻内務大臣ヨリ前田山川顧問官ヨリノ教育上ノ

要件ヲ選舉資格ニ加フルヲ得サルヤノ質問ニ對シ同意シ難キ旨ヲ答、尚山川、江本、有松各顧問官ト同大臣トノ間ニ質問應答アリ

之ニテ質問全部ヲ終了シ

富井委員長代理閉會ヲ宣ス

(午後六時半閉會)

衆議院議員選舉法改正法律案帝國議會へ提出ノ
件第十七回審査委員會

大正十四年二月四日(水曜日)本院事務所ニ於テ
開會

出席者

濱尾議長

一木副議長

審査委員長

金子顧問官

審査委員

富井顧問官

平山顧問官

倉富顧問官

山川顧問官

黒田顧問官

平沼顧問官

江木顧問官

列席者

有松顧問官

二上書記官長

村上書記官

堀江書記官

(午後一時五十分開會)

金子委員長開會ヲ宣シ先ツ本案第二章ニ付各
員ノ意見ヲ求ム

江木顧問官ヨリ選舉資格ニ付一家ヲ構フル者ニ複投
票權ヲ與フヘシトノ意見ヲ提議シ平山顧問官賛成

意見ヲ述、富井、倉富、平沼各顧問官ヨリ反對意見ヲ述、納稅資格ノ無條件撤廢ニ同意スルノ外ナキ旨ノ陳述アリ一木副議長山川顧問官ヨリ教育上ノ要件ヲ選舉資格ニ加フヘシトノ意見ヲ述フ右諸點ニ関連シ一木副議長始メ各委員間ニ意見ノ交換ヲ行ヒタルモ帰結ヲ見ルニ至ラス

金子委員長閉會ヲ宣ス

(午後四時四十五分閉會)

衆議院議員選舉法改正法律案帝國議會、提出ノ件第十八回審査委員會

大正十四年二月五日(木曜日)本院事務所
於テ開會

出席者

濱尾議長

一木副議長

審査委員長

金子顧問官

審査委員

富井顧問官

平山顧問官

有松顧問官

倉富顧問官

山川顧問官

黒田顧問官

平沼顧問官

江木顧問官

二上書記官長

村上書記官

堀江書記官

(午後一時四十分開會)

金子委員長開會ヲ宣ス

平沼顧問官ヨリ前回ノ發言ヲ補足説明スル所アリ

江木顧問官自説ヲ辯明ス

濱尾議長ヨリ本案ノ審査上参考トスヘキ意見ノ陳

述アリ

金子委員長ヨリ本案ノ實施ト衆議院ノ解散トノ關係ニ付疑問的意見ヲ述フ之ニ對シ倉富平沼兩顧問官ノ陳述アリ

有松顧問官ヨリ第五條ニ教育等ノ要件ヲ加フルコトノ意見ヲ提唱シ各負意見ノ交換アリ

金子委員長閉會ヲ宣ス

(午後五時閉會)

衆議院議員選舉法改正法律案帝國議會、提出ノ件第十九回審査委員會

大正十四年二月六日(金曜日)本院事務所ニ於テ開會

出席者

濱尾議長

一本副議長

審査委員長

金子顧問官

審査委員

富井顧問官

平山顧問官

有松顧問官

倉富顧問官

山川顧問官

黒田顧問官

平沼顧問官

江木顧問官

二上書記官長

村上書記官

堀江書記官

(午後一時三十分開會)

金子委員長開會ヲ宣シ前日ニ引續キ第二章ニ関スル意見ヲ求ム

富井、平山、有松、倉富、平沼、江木各顧問官ヨリ具體的意見ノ提出アリ

第五條選舉資格ニ関シ江木顧問官ノ意見ハ一戸ヲ構

フル者又ハ公共ノ勤ヲ盡ス者ヲ資格者トスヘシト為シ有
松顧問官ハ教育上ノ要件等ヲ加フヘシト為シ山川顧
問官ハ右有松顧問官ノ意見ニ修正ヲ加ヘムトスルモノナル
カ各員討議ノ結果帰決ヲ見ルニ至ラス金子委員長審
議ヲ後日ニ留保ス

次ニ第六條ニ関シ富井顧問官ヨリ「浮浪人、乞丐其ノ
他一定ノ住居ヲ有セサル者」ヲ平沼顧問官ヨリ「定リ
タル住居ヲ有セサル者」ヲ孰レモ缺格者中ニ加ヘムト
スルノ意見ヲ提議シタルカ討議ノ結果之ヲ「一定
ノ住居ヲ有セサル者」トシテ加フルニ決ス

同條列記ノ缺格者中第五號ノ處刑者ニ関シ倉富平
沼西顧問官ヨリ各修正意見ノ提出アリ討議ノ結果
有松顧問官ノ折衷意見多數ヲ以テ成立ス

平山顧問官ヨリ同條列記ノ缺格者中ニ「獨立ノ生計
ヲ營マサル者」ヲ加フヘシトノ意見提出アリタルモ第五
條ト關聯シ後日審議スルニ決ス

右決テ金子委員長閉會ヲ宣ス

(午後五時閉會)

衆議院議員選舉法改正法律案帝國議會、提出ノ
件第二十回審査委員會

大正十四年二月九日(月曜日)本院事務所に於
て開會

出席者

濱尾議長

一木副議長

審査委員長

金子顧問官

審査委員

富井顧問官

平山顧問官

有松顧問官

倉富顧問官

山川顧問官

黒田顧問官

平沼顧問官

江木顧問官

二上書記官長

村上書記官

堀江書記官

(午後一時四十五分開會)

金子委員長開會ヲ宣シ議案ニ對スル各員ノ修正意見ヲ求ム

第五條ニ關シ山川顧問官ヨリ選舉資格ニ教育上ノ要件ヲ加フヘシトノ提案アリ江木、平沼兩顧問官ノ反對意見アリ採決ノ結果少數ヲ以テ否決セラル

次ニ富井顧問官ヨリ被選舉權ノ要件タル年齢ヲ三十年以上トスヘシトノ提案アリ多数ヲ以テ之ヲ可決ス

次ニ第六條ニ關シ平山顧問官ヨリ缺格者中ニ「獨立ノ生計ヲ營ムコト能ハサル者」ヲ加フヘシトノ提案アリ江本顧問官ヨリハ「自治ノ途ヲ得サル者」ヲ加フヘシトノ提議アリ採決ノ結果平山説ハ少数ヲ以テ否決セラレ江本説ハ可否同數ト爲リ委員長ノ表決ニ由リ可決セラレ

次ニ第一條ノ選舉區ニ付有松顧問官ヨリ大選舉區制説アリタルモ賛成者ヲ得ラレス

次ニ現行法第十二條第一項（華族ノ戸主ノ選舉權及被選舉權ヲ有セサルコト）ノ削除ヲ復活スヘシトノ平山顧問官ノ提案ニ對シ江本、富井兩顧問官ノ反對意見、黒田顧問官及金子委員長ノ賛成意見陳述アリ採決ノ結果可否同數ト爲リ委員長ノ表決ニ由リ可決セラレ

次ニ現行法第十三條第一項ノ小學校教員ノ被選舉權ヲ有セサルコトノ削除ヲ復活スヘシトノ平山顧問官ノ提議ハ少數ヲ以テ否決セラレ

次ニ第十條（專任ノ文字ヲ削ルコト）第十二條（住所ヲ住居ニ改ムルコト）第四十九條（各投票所ノ投票ヲ混

同レテ點檢スルコト)及第六十七條(議員候補者ヲ其
ノ承諾ヲ得スレテ推薦スルコト)ノ修正ハ格別異議ナ
クシテ可決セラル(第四十九條修正ノ結果第五十三條
モ修正)

右終テ金子委員長閉會ヲ宣ス

(午後五時閉會)

衆議院議員選舉法改正法律案帝國議會、提出ノ
件第二十一回審査委員會

大正十四年二月十日(水曜日)本院事務所に於テ

開會

出席者

濱尾議長

一木副議長

審査委員長

金子顧問官

審査委員

富井顧問官

平山顧問官

有松顧問官

倉富顧問官

山川顧問官

黒田顧問官

平沼顧問官

江木顧問官

二上書記官長

村上書記官

堀江書記官

(午後一時四十分開會)

金子委員長開會ヲ宣シ前日ニ引續キ議案ニ對スル各員ノ修正意見ヲ求ム

第七十條ニ關シ當選人選舉期日後ニ於テ被選舉權ヲ有セサルニ至リタルトキハ當選ヲ失フ旨ノ二上書記官長ノ修正意見第八十八條ニ關シ推薦屈出者ヲ選

舉事務長ヲ選任スル場合必シモ議員候補者ノ承諾ヲ得ルヲ要セサルコトスヘシトノ江本顧問官ノ修正意見ハ孰レモ異議ナク可決セラル

第九十八條ニ関シ有松顧問官ヨリ推薦狀ノ度数ヲ制限シ其ノ他運動方法ヲ制限スヘシトノ意見出テタルモ成立セス

第九十九條ニ関シ倉富顧問官ヨリ選舉權ヲ有セサル者ノ選舉運動ヲ禁止スヘシトノ提議アリ異議ナク可決セラル

第十一章選舉運動ノ費用ノ規定ヲ全部削除スヘシトノ有松顧問官ノ意見ハ賛成ヲ得ルニ至ラス

第一百條ニ関シ有松顧問官ヨリ第三者ノ選舉運動費用ノ支出ヲ禁止スヘシ(但シ演説又ハ推薦狀ニ依ル例外ヲ設ク)トノ提議アリ多數ノ同意ヲ得テ之ニ決ス

第一百條但書ノ規定ヲ一層嚴重ニスル趣旨ノ修正意見富井顧問官ヨリ提出アリ結局之ヲ變シテ修正スルニ決ス

第一百十八條、第一百十九條、第一百二十條及第一百二十七條ノ罰則規定中ニ或ハ懲役ヲ加ヘ或ハ懲役ノ年數ヲ増加スルノ意見平沼顧問官ヨリ提出アリ別ニ異議ナク

之ヲ可決ス

第百三十六條ニ關シ平沼顧問官ヨリ運動員ノ投票
買收行為ニ因ル當選無效ヲ追記スヘシトノ意見出テ
タルモ賛否同數ニテ委員長ノ反對ニ由リ否決ト為リ
タルモ選舉事務長ノ買收行為ニ因ル當選無效ヲ認
ムヘシト為ス倉富顧問官ヨリノ修正說全會一致
ニテ可決ス

第百三十八條ノ時效期間ハ第百二十七條第三項
及第四項ノ罪ニ限り一年トスヘシトノ平沼顧問官ノ
修正意見亦異議ナリ可決セラレ

右ニテ修正意見一先終了シタルニ付
金子委員長閉會ヲ宣ス

(午後五時閉會)

衆議院議員選舉法改正法律案帝國議會へ提出
ノ件第二十二回審査委員會

大正十四年二月十二日(木曜日)本院事務所
ニ於テ開會

出席者

濱尾議長

一木副議長

審査委員長

金子顧問官

議院

審査委員

富井顧問官

平山顧問官

有松顧問官

倉富顧問官

山川顧問官

黒田顧問官

平沼顧問官

江木顧問官

二上書記官長

村上書記官

堀江書記官

(午後一時四十分開會)

金子委員長開會ヲ宣シ前回迄ニ一應議決シタル修正
意見ヲ再議ニ付ス

富井顧問官ヨリ第六條ノ處刑者ニ關スル修正意見ヲ
改訂シタシトノ意見ヲ述ヘ倉富、平沼兩顧問官ノ同
意アリ其ノ他各員異議ナク改訂ニ決ス

次ニ同條ノ修正案タル自活ノ途ヲ有セサル者ノ意義
ニ付平沼顧問官ノ質問ニ對シ江木顧問官ノ答辯アリ
一定ノ住居ノ意義江木顧問官及二上書記官長
ノ質問ニ對シ倉富、平沼兩顧問官ノ答辯アリ
次ニ第九十五條及第九十九條ニ關スル修正ヲ議決ス
次ニ報告案ニ記載スヘキ希望事項ニ付審議シ平沼、
江木、有松各顧問官ヨリ交々意見ノ開陳アリ尚瀨尾
議長ノ陳述アリ

平沼顧問官ヨリ希望事項ヲ特ニ上奏文中ニ記入ス
ヘシトノ意見アリ各員ノ間ニ賛否兩様ノ意見アリ免モ
角報告案ト共ニ一應書記官長ニ於テ起草スルコトト
為ル

次ニ修正案ヲ内閣ニ交渉スルコトニ關シ協議ヲ為ス
右伏テ金子委員長閉會ヲ宣ス

(午後四時四十五分閉會)

衆議院議員選舉法改正法律案帝國議會、提出ノ件
第二十三回審査委員會

大正十四年二月十四日(土曜日)本院事務所
於テ開會

出席者

濱尾議長

一木副議長

審査委員長

金子顧問官

審査委員

富井顧問官

平山顧問官

有松顧問官

倉富顧問官

山川顧問官

黒田顧問官

平沼顧問官

江木顧問官

二上書記官長

村上書記官

堀江書記官

(午後一時三十分開會)

金子委員長開會ヲ宣ス

一 本副議長ヨリ委員會ノ修正意見ヲ以テ内閣ト交渉シタル顛末ニ付詳細報告アリ結局内閣ニ於テ第六條選舉權及被選舉權ノ闕格者トシテ自治ノ途ヲ有セサル者ヲ掲グルノ點以外ハ悉ク委員會ノ修正意見ニ

同意レ只尚右ノ點ニ付テハ字句ヲ貧困ノ為公私ノ
救恤ヲ受クル者ト改メラレタレトノ交渉アリタリト述
ブ

富井顧問官ハ一木副議長ノ勞ヲ謝シ右内閣ノ提
議ニ同意ノ旨ヲ述ヘ黒田、江木、平沼、倉富各顧問
官亦之ニ賛同ス之ニ對シ平山、有松、山川三顧問官ノ
反對アリシモ少數ニ付委員會ハ内閣ト修正意見ノ
一致ヲ見ルニ至リ尚議案ハ内閣ニ於テ改訂ノ上上奏
シ現案ト引換御下付ヲ奏請セシムルフトシ審議休
了レタルヲ以テ

金子委員長閉會ヲ宣ス

(午後三時閉會)

衆議院議員選舉法改正法律案帝國議會、提出ノ
件第二十四回審査委員會

大正十四年二月十六日(月曜日)本院事務所
ニ於テ開會

出席者

濱尾議長

一木副議長

審査委員長

金子顧問官

區

院

院

審査委員

富井顧問官

平山顧問官

有松顧問官

倉富顧問官

黒田顧問官

平沼顧問官

江木顧問官

列席者

山川顧問官

二上書記官長

村上書記官

堀江書記官

(午後一時四十分開會)

金子委員長開會ヲ宣ス

金子委員長ハ先ツ委員會ノ修正意見ニ基キ政府ニ於テ改案シタル諸點ニ付異議ナキヤラ向ヒ各員異議ナキヲ確メタル後審査報告案ヲ付議ス

(村上書記官朗讀)

末尾ノ上奏文案ニ関シ江本、倉富、有松、平沼各顧問
官ノ意見アリ談合ノ結果修正ノ決議成ル
次テ十四枚目及十六枚目ノ字句修正ヲ行フ
右ニテ報告案ノ審議終了シ
金子委員長閉會ヲ宣ス

(午後五時閉會)

日本國及「ソヴィエト」社會主義共和國聯邦間ノ關係ヲ律
スル基本的方法則ニ関スル條約御批准ノ件第一回審査委
員會

大正十四年二月十二日(木曜日)本院事務所
於テ開會

出席者

濱尾議長

審査委員長

一木副議長